SHIGAKUKAN UNIVERSITY





2027

志學館大学 大学院

心理臨床学研究科

心理臨床学専攻(修士課程)

［公認心理師養成大学院］
［臨床心理士第1種指定大学院］

本研究科について

志學館大学大学院心理臨床学研究科は心理臨床の専門職である公認心理師/臨床心理士を養成する大学院です。2005年の開設以来多くの修了生を鹿児島をはじめとする地域に送り出してきました。

公認心理師や臨床心理士になるにあたって大学院レベルの教育が求められるということはそれらの資格がより高度な専門性が求められるということです。

本大学院においても複雑多様化した現代社会の人々の心の健康に関わる専門家を育てるために、豊富な知識と経験を持つ教員が丁寧な指導をおこないます。

みなさんも志學館大学大学院でともに学びませんか。



▲ 志學館大学大学院心理臨床学研究科
木下 昌也 研究科長

本研究科の特色





W資格対応

（公認心理師・臨床心理士）

実習システムの充実

手厚い卒後のサポート





W資格取得　公認心理師/臨床心理士の両資格に対応

本研究科は、国家資格公認心理師養成大学・大学院の認定と、日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院の認定を受けています。高度な心理専門職である公認心理師・臨床心理士を育成する養成機関であり、所定のカリキュラムを修了することで、両方の受験資格を得ることができます。

心理専門職の主要5領域「医療・教育・産業・福祉・司法」、それぞれの分野のエキスパートによる講義・演習が揃っており、心理査定、カウンセリングや各種心理療法など、修了後すぐに現場で働ける臨床力を養います。学部の心理臨床実践コースとの連携を重視しており、学部生と大学院生が講義、演習、見学実習などで交流できるのも魅力の一つです。



充実した学内実習と学外実習



研究科附属の学内実習機関として「心理相談センター」「発達支援センター」を備えており、年間計約1000回の相談支援を行っています。大学院生は両センターで、300時間超の実践的な実習を積むことができ、公認心理師・臨床心理士としての臨床力を育む貴重な体験を得ています。

なお、九州の私立大学で学内に両センターを持つ大学院は本学だけです。本学の学生は、医療・保健領域11ヵ所、福祉領域6ヵ所、教育領域3ヵ所、司法領域2ヵ所からなる22の学外実習機関から実習先を選択し、複数の施設で実習を受けることができます。

学内環境

心理相談センター

家庭や職場、学校などでの対人関係の悩みや心の問題、不登校などを抱えるクライエントに対応します。

各種心理的アセスメントに基づき、カウンセリング、プレイセラピー、箱庭療法、臨床動作法などクライエントに適した心理療法を行います。また、保護者や学校教職員への支援、関係諸機関との調整等も行います。



発達支援センター

子どもから高齢者まで生活にさまざまな困難を抱えた方やその家族などを対象に、心理臨床的観点からライフサイクルに応じた支援を行います。

1対1の個別支援に加え、集団療育を通して、幼児や児童のソーシャルスキル向上や、思春期の子どもの育ち直しの場の提供、子どもを育てる保護者のコミュニティ作りを行います。学校教職員等へのコンサルテーションも行っています。



手厚い卒後サポートで
公認心理師・臨床心理士資格取得に向けバックアップ！

大学院在学中はもちろん、大学院修了後も研修会やセミナーなど様々な研修の機会があり、修了後のサポートも提供しています。学外から講師を招いた研修会では、最新の臨床実践や研究をされている先生方からご指導を受ける機会が用意されています。修了生の合格に向けて、定期的に勉強会を開催し、盤石のサポート体制でバックアップしています。

研修会講師と研修テーマの一例（一部抜粋、講師の先生方の御所属などは当時）

- 若井貴史先生（哲学心理研究所）
  「認知行動療法の基本技」
- 井上雅彦先生（鳥取大学大学院医学系研究科）
  「発達障害のある子どもに対する心理社会的支援
  ―応用行動分析学によるアプローチ―」
- 仲真紀子先生（国立研究開発法人理化学研究所理事/北海道大学名誉教授）
  「子どもの言葉に耳をすませる―事実の調査と司法面接―」
- 大河原美以先生（大河原美以心理療法研究室室長）
  「親子の複雑性トラウマと再生への支援」
- 田中康雄先生（こころとそだちのクリニックむすびめ院長）
  「これからの心理臨床に期待したいこと―『発達障害』を対象にして―」

修了後の進路

【 医療・保健 】
県立姶良病院、阿久根市民病院、天草病院、いこまクリニック、出水病院、大勝病院、大口病院、鹿児島医療センター、希望ヶ丘病院、花倉病院、坂之上病院、桜ヶ丘病院、三州脇田丘病院、大悟病院、加治木記念病院、吉田病院、聖ルチア病院、武井内科クリニック、中川クリニック、西原保養院、福山病院、藤元病院、松下病院、メンタルホスピタル鹿児島、メンタルホスピタル鹿屋、碧山会、宮崎市保健所、山口大学医学部附属病院、やまびこ医療福祉センター 等

【 福 祉 】
愛の聖母園、南さつま子どもの家、いまきいれ子ども発達支援センターまぁる、大潟福祉会、鹿児島県社会福祉事業団、鹿児島自然学園、友愛学園、育成センターコスモス、清心乳児園、サランセンター、障害者（児）通所施設アリス、大一会、天心寮、のびーる下荒田、パソ児童館発達サポートセンターニーニョス、妙円寺こども園、八楽児童寮、こども療育センター結、フリースマイル、ひむかひこばえ学園 等

【 教育・研究機関 】
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、宮崎学園短期大学、鹿児島市教育委員会、南九州市教育委員会、志學館大学 学生支援センター 等

【 公 務 】
鹿児島県庁（心理職）、鹿児島市役所（心理職）、豊見城市役所（公認心理師職）、鹿児島中央児童相談所、鹿児島県こども総合療育センター、宮崎県警察（警察事務）、自衛官（心理職） 等

【 進 学 】
慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程、東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻博士課程、九州産業大学大学院国際文化研究科博士課程、鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科 等

在学生 VOICE



大学院 心理臨床学研究科
心理臨床学専攻　修士課程2年
志學館大学 卒業　宮崎東高等学校 出身

松並 葵依さん

手厚いサポートで目指す2つの資格。
多角的な視点と実践力が、未来の糧になります。

公認心理師と臨床心理士2つの受験資格取得を目指せる点と、手厚いサポート体制に魅力を感じ入学しました。

修士1年では講義を通して理論を学びながら、主に学内実習に取り組みました。修士2年では学外実習でさらに実践力を高めつつ、修士論文の作成にも注力します。修士1年の授業のうち、特に「臨床心理基礎実習」では、1年間を通じてスキルアップだけでなく、深く自己理解にもつながったと感じています。

先生方の丁寧な指導や、同期・先輩と切磋琢磨できる環境も大きな魅力です。

実習を通じて子どもへの支援の重要性を実感し、将来は子どもに関わる職を目指しています。ここでの学びや経験は、一つひとつが必ず自分の糧となります。夢に向かって進む皆さんを応援しています。

修了生 VOICE



大学院　心理臨床学研究科　心理臨床学専攻
令和元年度 修了

【就職先】　北薩児童家庭支援センター
（心理療法担当職員）

盛田 桃美さん

言葉にならない思いに寄り添う。
克服した言語化力で多職種と連携し子どもを支える。

自身の経験から心理職を志し、大学院へ。特に印象深いのは毎週のケースカンファレンスです。事例への理解を深めるだけでなく、苦手だった「意見を言語化する力」を鍛える場でした。

現在は児童家庭支援センターで、学校や行政と連携し子どもたちを支援しています。多職種の中で専門職として発言を求められることも多く、院での経験が今の仕事に繋がっています。

相談者の「言葉にならない感覚」にまで寄り添い、地域に安心を届ける心理士となれるようにこれからも努力を重ねていきたいです。

教員紹介

●研究指導担当



臨床心理学や心理学の各専門領域にわたって多数の優秀な専任教員がそろっており、医療・福祉・教育分野など、修了後の就職に十分配慮したカリキュラム編成を行っています。カウンセリングや心理療法、心理アセスメントなど、現場にすぐ役立つ技能が修得できるよう、実技指導に力を入れています。研究の指導体制も十分に整えられており、これまでに多くの学生が国内や海外での学会発表を行っています。

木下　昌也 教授(研究科長)
[発達心理学/学習心理学/行動学]
児童期から青年期にかけての行動の成熟に関する研究

飯干紀代子 教授(学長)
[神経心理学/生涯発達心理学/高齢者心理学]
高次脳機能障害・認知症の人への支援、ICTを使った支援

神薗　紀幸 教授
[社会心理学/対人行動学]
青年期の適応過程に関する研究

近藤　　諭 教授
[社会病理学/コミュニケーション論]
貧困、社会の変化による生活支障に関する研究

野上　　真 教授
[産業組織心理学/社会心理学]
モチベーション論、リーダーシップ論

胸元　孝夫 教授 ●
[心理医学・内科と行動療法をベースとした心身医療]
慢性疼痛、慢性疲労、糖尿病、過呼吸、うつ病など

山喜　高秀 教授 ●
[臨床心理学/発達臨床心理学]
発達障害、情緒障害、虐待を中心とする心的外傷など

花形　　武 准教授 ●
[臨床心理学/心理療法]
箱庭療法に関する研究など

前野　明子 准教授 ●
[臨床心理学/応用行動分析学/障害者就労支援]
発達障害児者の家族支援、障害者の就労支援など

石川　愛 講師 ●
[臨床心理学／応用行動分析学／高齢者心理学]
認知症高齢者及びその支援者への支援に関する研究

志賀　希子 講師 ●
[臨床心理学/健康心理学]
ストレス、うつ症状、メンタルヘルスケアなど

野元明日香 講師 ●
[臨床心理学/障害児心理学]
特別なニーズのある子どもやその家族への支援など

畑田惣一郎 講師 ●
[臨床心理学/医療心理学]
認知行動療法や森田療法を活用した介入や研究など

川津　　優 助教
[臨床心理学/認知行動療法]
子どものうつ・不安・心身症に対する心理支援など

後藤　知紀 助教
[臨床心理学]
来談者中心療法、発達障害児とその家族への支援など



修士論文のタイトル（紀要掲載の論文を抜粋）

- ゲームリテラシーと心理的well-beingとの関連ープレイ時間と依存傾向に着目してー
- 小・中学校教師のバーンアウト傾向に関連する現状とその要因の検討ー心理職による教師への支援者支援の可能性についてー
- 友人の抑うつ症状に対するメンタルヘルス・ファーストエイド方略の検討ー過去の交流経験とその受け止め方に着目してー
- 自己を振り返るワークが本来感に及ぼす影響ーパーソナルコーチングの考え方をもとにー
- 大学生へのアサーション・トレーニングの効果の検討ー対人ストレスに注目してー
- 集団療育支援における発達障害児と他者との関係発達についての検討

特待生制度

入学者選抜試験における成績が上位の者には、特待生としての資格が付与されます。

入学金免除

本学学部卒業後、引き続き入学する者は、入学金及び後援会入会金を免除します。



教育訓練給付制度

受給条件を満たす方が本学大学院へ入学した場合、本学大学院に支払った学納金の一部に相当する額を修了後にハローワークから教育訓練給付金として受給することができます。

給付金の詳細については、ハローワークインターネットサービスでご確認ください。

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

長期履修学生制度

職業や家事に従事しながら生活スタイルに合わせて、通常2年間の修学年限を3年または4年のいずれかに変更できます。



アクセス

JR……「南鹿児島」駅から徒歩10分～15分

市電……「南鹿児島駅前」から徒歩10分～15分

鹿児島交通…「志学館前」バス停から徒歩5分～10分

志學館大学
SHIGAKUKAN UNIVERSITY

〒890-8504 鹿児島市紫原1-59-1
TEL.099-812-8501(代表)

入試広報課

資料請求・問い合わせ

TEL.099-812-8508
FAX.099-812-8214
e-mail : entrance@shigakukan.ac.jp

資料請求受付中!

大学Webサイト